



教育

おおらか

さわやか

きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 ☎476-1111(401)

◆中学校統合準備委員会が開催されました

1月17日（金）、中学校統合準備委員会が開催されました。今回の会では、新生『大崎中学校』開校に向けて各部会において協議・決定された事項について報告がなされ、スクールバス停留所の変更（旧：荒佐神社→新：国道269号沿いのガソリンスタンド跡地）が承認されました。

今後は4月1日の開校にむけて、事務手続き等の諸準備が進められることとなります。

◆新生『大崎中学校』入学説明会が開催されました。

1月29日（水）、現在の大崎中学校を会場として、町内6小学校の6年生と保護者を対象に入学説明会が行われました。

説明会では、校則、学習、生徒会組織、部活動、スクールバス等の説明がされました。説明会の後では、校内の施設を参観したり、放課後の部活動を見学したりと、入学後の自分に思いをはせる姿が数多く見られました。



▲入学説明会の様子

まぶい窓おしの庭

自らを振り返る余裕をもって子育てを！

NO.22 大崎第一中学校 特別教育支援員

小野 周子

「けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる（中略）親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る。」これは、ドロシー・ロー・ノルトの余りにも有名な詩『子は親の鏡』の一節です。今から半世紀も前に作られ、その後何回か修正されながらも、ずっと子育てのバイブルとして世界中の人々に愛読され続けています。

作者がこの詩で伝えたいことは、とてもシンプルです。「子どもは常に親から学び、親の姿を見ている。親は子どもにとって、人生で最初に出会う、最も影響力のある『手本』である。子どもは毎日の生活の中での親の姿や生き方から、よいことも悪いこともすべて吸収してしまう。親がどんなふうに喜怒哀楽を表すか、どんなふうに人と接しているか、その親の姿が、手本として、子どもに生涯影響力を持ち続けることになる。」とこの詩（本）に出会った当時の私は身震いし、既に子育てを終えていましたが、『親』を教師に置き換えて実践していこうと考えたものです。

子どもが親に似てくるのは、単なる遺伝上の外見だけではなく、基本的な生活習慣や仕草、驚くべきは内面（人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心等々）更には、考え方の傾向までもが例外ではなさそうです。

子どもを取り巻く社会環境は大きく様変わりしてきましたが、親が我が子を思い、幸せを願う気持ちは今も昔も変わりません。私たち親は、子どもの不足な部分を口にする前に、親として自らを振り返る余裕を持って、未来を担う子育てを楽しみたいものです。